

平成31年度高知県運輸業女性活躍推進実行委員会の取組に向けたアンケートとりまとめ

資料4

■ 乗務員不足の改善に向け、実行委員会が平成31年度の取組として検討すべき内容は
何であると思われますか？ ※複数回答可

- 広報(運輸業の魅力PR)・・・**6人**
 - ・勤務体系、キャリア形成への疑問解消のための広報
 - ・県民の目と耳に絶えず「ドライバー」という職業の選択肢が入ってくるような広報
 - ⇒ 幅広い女性への「ドライバー」という職業の魅力発信
(広報①:女性ドライバーイベントの実施、広報②:Webサイト「ドラ女子kochi」等)
- 運転手育成にかかる費用の支援(免許取得に係る支援等)・・・4人
 - ・やるのであれば、女性だけでなく若手獲得も含めての方が良い
 - ⇒ まずは事業者の「女性ドライバーの雇用促進」に向けた意識づけが優先
- 女性雇用のための環境整備(女性向けの休憩室、トイレ、賃金等)・・・5人
 - ・ワークライフバランスが保てる環境(休みが取りやすく働きやすい時間帯での勤務可)
 - ・環境整備によってもたらされる事業者側の意識の改善
 - ⇒ まずは国の助成制度を活用してもらう
- 事業者に対する女性乗務員採用に向けた意識付け(講演等)・・・**9人**
 - ・女性ドライバーの採用によるメリット等の基本的な情報の共有
 - ・女性ドライバーの確保に成功している、又は積極的な事業者の事例紹介
 - ⇒ 事業者への「女性ドライバー雇用に向けた意識づけ」のための講演会の実施
(事業者への意識付け)
- その他・・・3人
 - ・タクシー事業者の接客マナーに力を入れるように進める事業
 - ・運輸業を希望しない理由や運輸業に対するイメージのアンケートの実施
 - ・事業者の女性採用と育成に向けた本気度の確認、勤務態勢そのものの見直し

